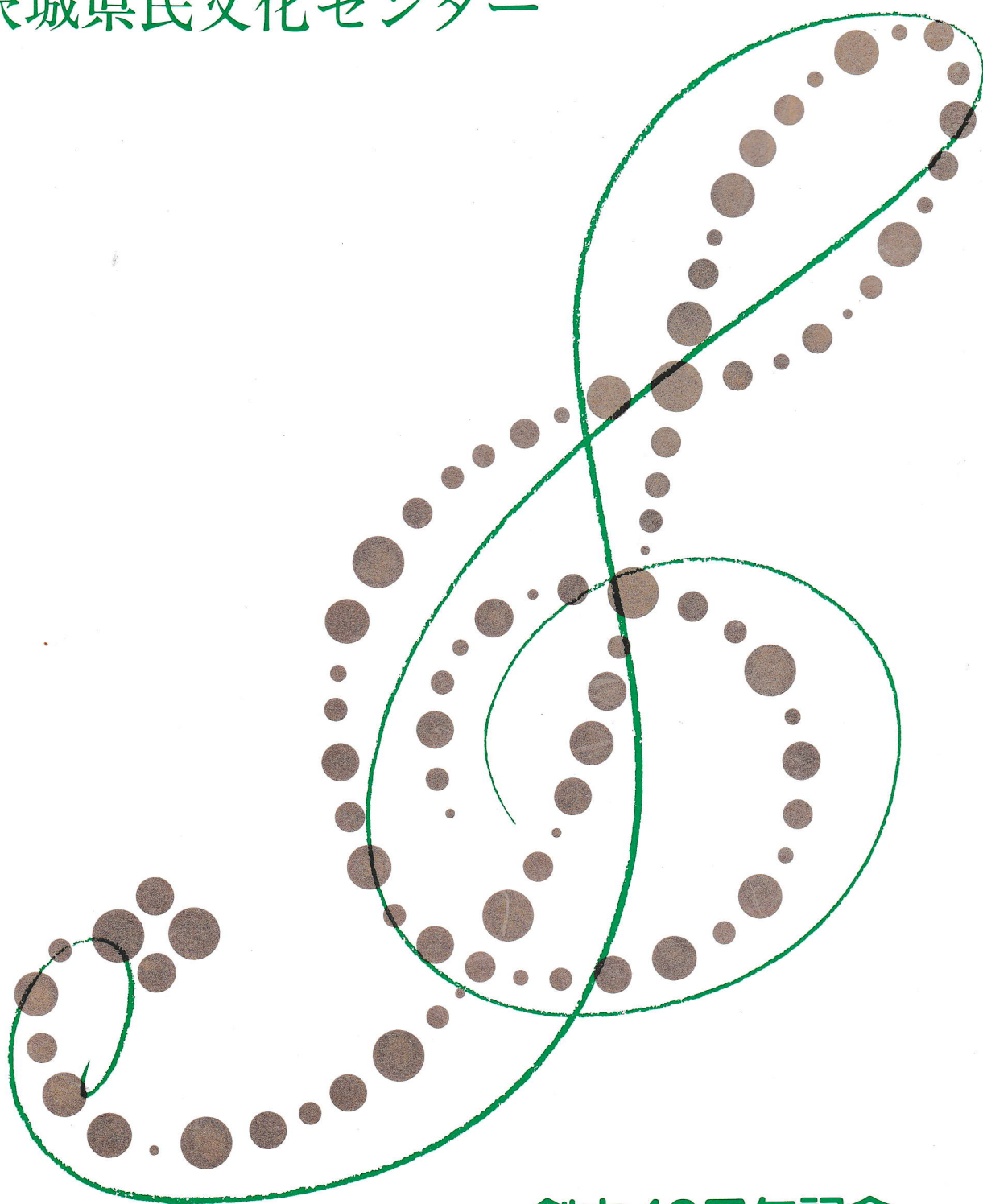


1990年 7 月 22日(日)

茨城県民文化センター



創立40周年記念

第29回

あひる会合唱団定期演奏会

後援：茨城県教育委員会／水戸市教育委員会／茨城県文化福祉事業団／茨城県合唱連盟／水戸市合唱連盟／茨城新聞社



ごあいさつ

あひる会合唱団団長 川 上 睦 夫

本日は、お忙しいところ、多数ご来場下さいまして、ありがとうございます。「あひる会合唱団」が、40年という長いあいだ演奏活動ができましたのも、ひとえに皆さまがたの、暖かいご支援のたまものと、心から感謝しております。

私どもにとりまして念願の委嘱作品「人体詩抄・抄」を初演できますことは、このうえない喜びでございます。この素晴らしい作品が「あひる」の財産にとどまらず、全国の合唱団によって、歌われてゆくことは間違いありません。

それでは、最後までごゆっくりお聴きいただき、遠慮のないご批判、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ながら、本記念演奏会を開催するにあたりまして、大勢の方々より多大なご賛同、ご援助をいただきましたことを、心から御礼申し上げます。

あひる会常任指揮者 鈴 木 良 朝

本当に40周年かと懷疑が先立つほど、歳月は非情にも流れてしまいました。

その間、35年も指揮をさせていただいたのに、私自身が、かたつむりの歩みにも至らなかったことに、後悔の念を禁じ得ません。水戸市民合唱団を改称して、あまりハイカラではない「あひる会」と名付けてくれた初代団長の巽さんに感謝？するとともに、「あひる」だからという理由にもならない安堵感が、首をもたげております。自戒することしきりです。

このたびは、結城市出身の新川和江先生の作詩、水戸市出身の池辺晋一郎先生の作曲でオリジナル作品を演奏できる運びとなりました。両先生に心から感謝申し上げます。本邦初演という記念すべき演奏ができる喜びで、団員一同懸命に励んで参りました。両先生の意図を十分に表出できたかどうかきわめて疑問ですが、これからも前向きで合唱音楽に取り組んで参りますので、御理解を賜りたいと存じます。



茨城県教育委員会教育長 小林 元

第29回あひる会合唱団定期演奏会が、創立40周年を記念して開催されるにあたり、心からお祝いを申し上げます。

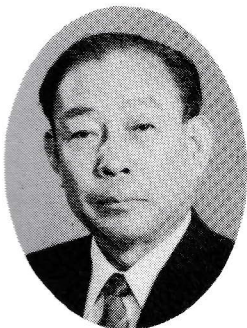
近年、余暇時間の増加などに伴い、芸術や文化への関心は急速に高まりをみせておりますが、あひる会合唱団は、戦後まもなくアマチュア合唱団の草分けとして創立され、以後40年にわたり、本県における合唱普及の中心として活躍をしております。本県合唱の発展にはたしたその功績は、誠に多大なものと申せましょう。

さらに、今回の定期演奏会においては、結城市出身で、元日本現代詩人会会長の新川和江先生の詩に、水戸市出身で、現在映画音楽など多方面の音楽にも意欲的な活動をされている池辺晋一郎先生が曲をつけた委嘱作品を演奏されるとのことでございます。ますます旺盛な活動を展開する姿勢は、他の本県アマチュア合唱団の励みとなるに相違ありません。

芸術文化に対する、最近の県民意識は、ただ演奏会や展覧会を鑑賞したいということにとどまらず、自ら演奏し、描きたいという、いわば芸術に参加したいという意識に変化してきております。豊かさを実感できない時代と言われておりますが、芸術に自ら参加することが、豊かさを実感できる生活を創り出すのではないのでしょうか。

40年にわたり、その芸術参加活動を実践し続けてきたあひる会合唱団の演奏をお聴きになった方々の一人でも多くが、自ら歌い始められることを願わずにはいられません。

最後となりますが、あひる会合唱団の40年の歴史に敬意を表わすとともに、今後のますますの御発展を祈念いたしまして、ごあいさついたします。



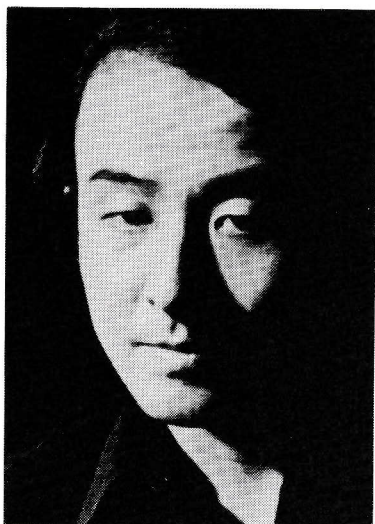
水戸市教育委員会教育長 海野 千 秀

本日ここにあひる会合唱団創立40周年記念演奏会が開催されますことを心からお祝い申し上げます。

昭和26年、水戸市民合唱団として誕生し、同28年に「あひる会合唱団」と名称を変えて以来、多数の団員や関係者の方々の熱意と努力により今日の御隆盛を迎え、特に昨年は、福岡県で行われた合唱コンクール全国大会に関東甲信越地区の代表として3回目の出場を果たし、輝かしい成果を残されました。日頃から合唱の楽しさ、美しさ、すばらしさを求めて練習を重ねて技量を磨き、水戸市芸術祭を始め、定期演奏会、合唱コンクールなど積極的な活動を行い、その都度多くの人々に大きな感動を与えてられました。このような貴団体の活躍は、美しい自然、人間を大切にする豊かな社会を目指す水戸市の文化の向上に大きな役割を果たしており、誠に意義のあるものと存じます。

本日の創立40周年記念演奏会においては、念願の委嘱作品として、新川和江先生詩集「人体詩抄」より本市出身の池辺晋一郎先生作曲の作品を演奏されますことは、誠に素晴らしいことであり、団員の方々の喜びもひとしおかと存じます。団員の皆様にはこれを機に更に合唱に親しまれ、心のふれあいを大切にし、今後の合唱活動を一層充実したものにして頂きたいと存じます。

最後に、貴団体の一層の飛躍を御祈念申し上げてあいさついたします。



●— 池辺晋一郎 —●

1943年水戸市生まれ。茨城大学付属愛宕小学校卒業後、東京都立新宿高校を経て、東京芸術大学音楽学部作曲科に学ぶ。作曲を池内友次郎、三善晃、矢代秋雄、島岡譲、指揮を金子登、渡辺暁雄、ピアノを遠見豊子に師事する。

1971年東京芸術大学大学院を修了後、東京芸術大学講師、東京音楽大学教授を歴任し現在に至る。その間1974年茨城国体では、国体讃歌及びファンファーレの曲を作曲して絶賛を博したほか、1989年水戸市制100年記念交響詩や現在まで合唱曲・管弦楽曲・オペラ・バレエなど多くの秀作を発表しわが国作曲界の第1人者として活躍している。また、幅広い作曲活動の中で映画「影武者」「楳山節考」「瀬戸内少年野球団」「夢」やNHKドラマ「黄金の日」「峠の群像」「霧つくし」「独眼竜政宗」などの音楽を担当していることは多くの周知するところである。



あひる会合唱団の40才を心から喜んでいます。水戸の町の片すみで、病気ばかりで小学校へ行くのが一年遅れてしまったばかり、少し体調のいい日には母の古いピアノでデタラメ遊びをしていたあの頃、水戸のあひる達は歌いはじめたのですね。終戦から数年、世の中も、日本人ひとりひとりの心の中も、荒廃におおいつくされそうな日々だったはずです。

そんななかで歌う。「合唱ブーム」などということばもある昨今とは違います。何としても「音楽したい」と思った。そのあふれる思いが、40年の歳月をこえて、今に伝わってきます。

あひる会が青年の年令だった頃から、茨城国体讃歌、水戸市制100年記念交響詩、「北の祭り」「東洋民謡集」その他多くの合唱曲のいろいろ……、ぼくは何度もおつきあいさせていただきました。今やあひる会は、ぼくの最も親しい合唱団のひとつです。だからこそ、心から喜んでいるのです、きょう。

結城の御出身、つまり茨城人である新川和江先生の詩集から選んで作曲することになり、ぼくは迷いました。作曲したい詩がたくさんあったのです。結局、「人体詩抄」という12篇の詩集の、ヒューマンできびしい視点と、ナイヴなことばに惹かれ、半分の6篇で組曲を作りました。

半分ですから、「人体詩抄・抄」なのです。「口」「顚顚」「掌」「髪」「蹠」「臍」を、作曲したい気持抑えつつ、組曲として長大になりすぎるため、見送りました。（是非お読みになってください。思潮社刊。）新川先生は、詩の使用を御快諾下さったのみならず、語句の読みかたについて、ていねいに御教示下さいました。感謝のことばもありません。この欄をお借りして、心より御礼申し上げます。

さまざまな仕事に追われ、なかなか着手できなかったのにこの5月半ばに、作曲中のN響のためのシンフォニーⅣと並行して書きはじめると、我ながら驚く速さで筆が進み、半月で脱稿しました。詩の魅力と、久しぶりで書く「ア・カペラ（無伴奏）合唱」（これがコーラスの真の醍醐味です。作る方も歌う方も）ということが相乗効果を形成したのだったでしょう。

40才のあひる会にこうして新しい曲を贈ることができて、本当に嬉しく思っています。信頼する鈴木良朝先生とあひる会の皆さんの歌声に期待しつつ……。

1990.6.9. 水戸へむかう車中で

●— 新川 和江 —●



昭和4年茨城県結城郡絹川村生まれ。昭和19年県立結城高女在学中より西条八十に師事。昭和23年東京に移住。少女雑誌・児童雑誌に小説や童謡、少年少女詩を書きはじめる。昭和35年学研・中1コースに連載の詩で小学館文学賞受賞。昭和40年詩集「ローマの秋・その他」で室生犀星賞受賞。昭和45年三大元素、土・火・水へのオードの詩連作に着手。昭和56年から日本現代詩人会理事長を2年間、続いて会長を2年間務める。その間、昭和58年吉原幸子と共に季刊詩誌「現代詩ラ・メール」を創刊、翌59年に結城市市民栄誉賞受賞。昭和62年詩集「ひきわり麦抄」で現代詩人賞受賞。

人体詩抄について

「“新体詩抄”をもじって、“人体詩抄”というのはどうでしょう。」

「おもしろい。それでいきましょう。」

ということでその連載は、始まりました。

“新体詩抄”というのは、明治15年、外山正一・矢田部良吉・井上哲次郎ら三人の学者詩人によって出版された、日本の詩史上重要な位置を占める詩集。その標題をもじるとは不謹慎きわまりないのですが、“身体詩抄”とはせずに、“じんたいししょう”と一字濁点を打つことで、始祖詩人たちに許してもらうことにしました。それに、身体は身体でも、思想や感情をもった人間の体であることに、つよくこだわりたい思いがありました。

私は詩を、同じ時間、同じ地上に存在するものたちへの挨拶のつもりで、ずっと書きつづけてきました。人たちはいうまでもなく、植物や動物、ひかりや水や、火や土や、目に触れるほどのものはおおかた、詩の題材にしてきました。それなのに、私を私たらしめている、かんじんの自分の体について、何ひとつ書いていないのはどういうことかと、反省をしている矢先でもあったのです。

目、耳、鼻、口、こめかみ、掌、背中、血管、臍、膝、蹠、髪——。体の各部分をモチーフにした詩を、私はつぎつぎ書いていきました。「それでいきましょう。」と言ってくださった雑誌は、『幼児の指導』（学研 昭48. 4～49. 3）という雑誌で、幼児教育とはまったく関係の無い詩を、よくもまあ一年間、文句も言わずに載せつづけてくださったものです。振り返ってみるのに、まとまった仕事やあとに残る仕事ができたと、必ずこうしたふところの大きい編集者さんとの出会いがあったように、思います。

このたびもまた、同郷の秀れた作曲家池辺晋一郎氏と、あひる会合唱団、二重、三重の出会いに恵まれて、詩集の中からいきいきと立ちあがらせて頂くことのできる“人体詩抄”は、なんと幸福な詩たちでしょう。

プログラム

第1ステージ

指揮 鈴木良朝

ルネッサンス合唱曲

Ero così dicea

L. ルザスキ 作曲

(ヘロはこのような語った)

MESSE 'QUARTI TONI' より Credo

ビクトリア 作曲

(第4旋法によるミサ曲)

第2ステージ

指揮 打越孝裕

ピアノ 五藤淳子

日曜日 —ひとりぼっちの祈り—

蓬萊泰三 作詩

南 安雄 作曲

1. 朝

2. 街で

3. かえり道

4. てがみ

5. おやすみ

第3ステージ

指揮 鈴木 良 朝
ピアノ 五 藤 淳 子

「合唱で聴く日本の歌」より

1. さんさ時雨

寺 嶋 陸 也 編曲

2. かっぽれ

寺 嶋 陸 也 編曲

3. 奴 さ ん

寺 嶋 陸 也 編曲

4. 越 後 獅 子

池辺晋一郎・川本 哲 編曲

第4ステージ

指揮 鈴木 良 朝

人体詩抄・抄 ——混声合唱のために——

新 川 和 江 作詩
池 辺 晋一郎 作曲

I. 目

II. 鼻

III. 耳

IV. 血 管

V. 膝

VI. 背 中

人 体 詩 抄

目

目は

あかつきの最初の光を 捉える
〈もの〉を捉える 〈かたち〉を捉える
おくれる合図を
おのれの今在る位置を 捉える
どの器官よりもすばやく 正確に

目は

鏡の中に湧く霧を あばく
夢をあばく 畏をあばく
月の痘を
王様のはだかを あばく
飛び出しナイフのよう 視線を閃かせて

目は

こころの露な傷口 その痛みにいるむ
〈さようなら〉にいるむ 〈こんにちわ〉にいるむ
見知らぬ少年兵士の死に
他人の家のしあわせの灯に うるむ
雨の中のふた粒の葡萄のように

目は

うつくしい夕焼けを 蔵う
薔薇を蔵う 水平線を蔵う
優しい人の手紙の文字を
おもかげを蔵う
まつげに縁どられたその瞼のうらに

鼻

鼻というものは 夜ひとりになると
によきによきによきによき 伸びるらしい
天井をつき破り
屋根の恋猫をにゃんと跳び退かせ
いい気分で夜風に吹かれながら
高々と 雲の上まで伸びるらしい

花摘みにきた天女が

「あら つくしが生えているわ」といって
手籠にいっぱい摘んで帰り
オヒタシ或いはゴマヨゴシにして
神様の朝の食膳に供する

混んだ通勤電車に乗ると

マスクをした人たちがやたらに目につく
「悪い風邪がはやっていますな」
などとあいさつし合っているが
あのマスクの下は どうなっているのやら
は！ は！ はくしょん！

耳

母のなかの遠い渚で

貝拾いをした記憶が 私にはある
ふしぎな襷をもつ二枚の貝殻を
私は合わせ 確かめたうえで
髪かざりでも挿すようなぐあいに
顔の左右に シンメトリカルに留めつけた

はじめにはいつてきたのは 潮鳴りだった
月に牽かれて 波は優しく泡立っていた
もののかたちも知らぬままに

私は二枚の貝殻がとらえる音を聞きとっていった
あれは釣瓶の音 あれはセコンドの音
あれは 往還を走る車の警笛……
だからこの世に生れ出たとき
ひどくなつかしげに 私はそれらのものたちを見た

それにしても

この子の耳は なんてきみしそうなのだろう
と母は言い 大きくなると恋びとも言った
福耳ではないのだ でも
孤独げであったとしても無理はないのだ
離ればなれに留めつけられて以来
二枚の貝殻はついに——おそらく永遠に
相会う機会がないのだもの

人 体 詩 抄

血 管

わたしがかかえている闇は深く大きい
億年の夜を合わせたよりもさらに長い
いずこから来て いずこへ流れてゆくのであろう
川があり
太古の犬が耳をそばだてている
父祖の 咳しわふきの聞える日がある
まだ生れぬ未来の赤児の泣き声のする日がある
母の そのまた母の繰り言
わらべ歌をうたいながら
川上の霧の中へ次第に遠ざかってゆくのは
幼い日の兄や妹 大勢のいとこたちだ
悲哀に凍り 歎びに泡立ち
激怒にふっとうする その流れを
柵にかこわれた水車小屋が
いつときも休むことなく濾しつづけている

膝

幾重にも衣服で被^{おお}ってはいるが
膝小僧よ
屈した日の汚辱を洗い落せずに
いまだにべそをかいている
私のなかの泣虫小僧よ

塔や 虹や とぶ鳥や
高いところばかり眺めて 追い求めて
私はいま 暮しているが
けっしておまえを忘れてはいないよ
もうひとつの私の顔よ

しばしお待ち
夜が更けたらおまえを抱いて
しみじみと語り明かそう
ひとびとは賑やかに私を囲んではいるが
おまえにしか持ちかけられぬ
相談もあるのだよ 生きていると

背 中

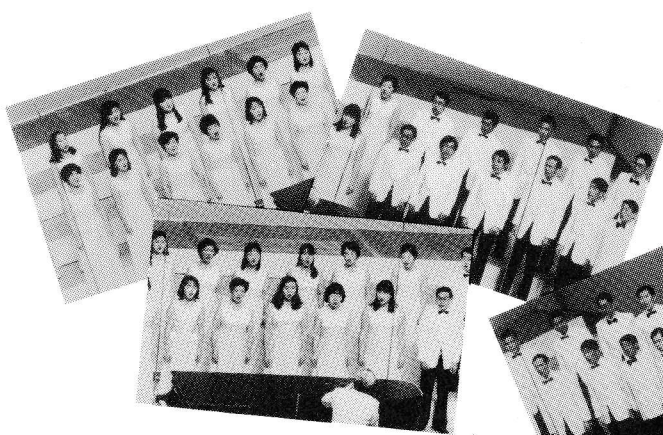
雑踏の中を歩きながら
ひとは 自分の背中を
見知らぬ遠い国のように思う
はるかな地平線のように思う

陽はいくつ昇り また沈んだことだろう
その地平線に
野の花の一りんや二りん
咲くこともあるのだろうか その片ほとりに

他人の背中を
ひとは或る種のなつかしみをこめて うち眺める
くまなく摩さすってみたく思う そうすることで
おのれの背後のはるかさを計ってみたく思う

この1年の歩み

○合唱コンクール全国大会出場



合唱コンクール全国大会（'89.11.26 福岡サンパレス）



あひる会の足あと

- 昭和26. 春 水戸市民合唱団として創立
 28. 春 あひる会合唱団と改称
 31. 8 第1回定演……………ラファエル頌歌 蒼い月（石桁真礼生）
 35. 8 第2回定演〔10周年記念〕……………信濃路の秋 ポピュラー合唱曲集
 39. 9 第3回定演……………信濃の秋
 40. 8 第4回定演〔15周年記念〕……………「デッティンゲン・テ・デウム」天地創造
 41. 9 第5回定演……………山に祈る
 42. 9 第6回定演……………千曲川の水を恋ふる歌 旅
 43. 12 第7回定演……………焰の歌
 44. 12 第8回定演……………水のいのち レクイエム（フォーレ）
 45. 12 第9回定演〔20周年記念〕……………心の四季 戴冠ミサ（モーツァルト）
 46. 12 第10回定演……………聖セシリアのための荘厳ミサ曲（グノー）
 47. 12 第11回定演……………レクイエム（フォーレ）山に祈る
 48. 11 第12回定演……………レクイエム（ケルビーニ）
 49. 12 第13回定演……………戴冠ミサ（モーツァルト） 新しいこどもの歌
 50. 12 第14回定演〔25周年記念〕……………聖セシリアのための荘厳ミサ曲（グノー） 蔵王
 51. 12 第15回定演……………氷山は力もちだ 遙かなものを
 52. 12 第16回定演……………雀のミサ曲（モーツァルト） 風のうた
 53. 12 第17回定演……………ミサ曲ト短調（シューベルト） 日曜日
 54. 12 第18回定演……………ミサ曲No.6（グノー） カムイの森で

○合唱で聴く日本の歌



○合宿



合 宿 ('90.5.20 山方町中央公民館)



合唱で聴く日本の歌 ('90.4.14 水戸芸術館)

- | | |
|----------|---|
| 昭和55. 12 | 第19回定演〔30周年記念〕…………コタンの歌 レクイエム (ケルビーニ) ハレルヤ |
| 56. 7 | 第20回定演…………スタバト・マーテル (ドヴォルザーク) 息づく日々 チコタン |
| 57. 6 | 第21回定演…………北の祭 谷川の水を求める鹿のように グローリア (ブルックナー) |
| 57. 11 | 第35回全日本合唱コンクール関東大会出場金賞受賞 全国大会出場 |
| 58. 6 | 第22回定演…………五声のミサ曲より (バード) レクイエム (モーツァルト) |
| 58. 11 | 第36回全日本合唱コンクール関東大会出場金賞受賞 全国大会出場 |
| 59. 6 | 第23回定演…………レクイエム (ピツェッティ) 合唱のためのコンポジション I |
| 59. 10 | 第37回全日本合唱コンクール関東大会出場銀賞受賞 |
| 60. 6 | 第24回定演〔創立35周年記念演奏会〕……聖セシリアのための荘厳ミサ曲 (グノー) |
| 60. 10 | 第38回全日本合唱コンクール関東大会出場銀賞受賞 |
| 61. 6 | 第25回定演…………Laudibus in Homines 銀河鉄道9 9 9 旅 |
| 61. 10 | 第39回全日本合唱コンクール関東大会出場銅賞受賞 |
| 62. 7 | 第26回定演…………東洋民謡集I ふるさとの四季 ミサ「パンジェリングア」(ジョスカン・デ・プレ) |
| 62. 10 | 第40回全日本合唱コンクール関東大会出場銅賞受賞 |
| 63. 7 | 第27回定演…………風のうた 阿武隈の雲 |
| 63. 10 | 第41回全日本合唱コンクール関東大会出場銀賞受賞 |
| 平成元. 7 | 第28回定演…………第四旋法によるミサ曲 (ビクトリア) 海鳥の詩 |
| 元. 11 | 第42回全日本合唱コンクール関東大会出場金賞受賞 全国大会出場 |
| 2. 7 | 第29回定演〔創立40周年記念演奏会〕……人体詩抄・抄 日曜日 |

プロフィール



常任指揮者 鈴木 良 朝

昭和9年水戸市生まれ。茨城大学卒業後、水戸二中教諭、県教育庁指導主事、文化課副参事、総務部知事公室副参事、水戸市立赤塚小学校長を経て、現在県教育長文化課長。

あひる会の前身である水戸市民合唱団の創立以来活動が続け、35年間常任指揮者を務めている。その間、水戸二中教諭時代、コンクールで全国2位、あひる会合唱団においても昭和57年、58年、平成元年度全国大会出場を成し遂げた。

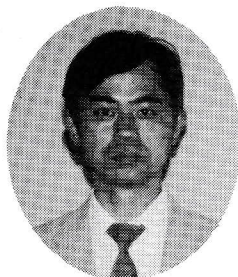
本県初演の作品を数多く取り上げているほか、中世ルネッサンスの音楽を積極的に追究している。その衰えを知らない情熱に団員一同の全幅の信頼を集めている。

日本合唱指揮者協会々員。

昭和31年、水戸二中の教員となった折、正式に指揮を依頼され、次の指揮者が誕生するまでと棒を振っていたところ、つつい蟻地獄に入ってしまう、35年の年月が流れてしまいました。

白髪が目立ち、目も弱くなり、細かい楽譜を見ながら3時間も指揮をしていると、涙が出てくるしまつで、そろそろダメかなと思うことしきりです。

しかし、池辺先生の斬新な作品やルネッサンスの合唱曲との出会いで、また新たな意欲が湧いてきました。



副指揮者 打 越 孝 裕

昭和31年水戸市生まれ。武蔵野音楽大学卒業後、小川北中を経て、現在水戸一中教諭。第20回定演「チコタン」で副指揮者としてデビュー。以来、クラシックからポピュラーまで幅広い音楽をレパートリーにしている。あひる会ベースになくはない存在である。また、水戸市民吹奏楽団でも活躍し、各方面から将来を嘱望されている人物である。

音楽やスポーツを「する」ことを、英語ではPlayといいます。つまり「遊び」です。私の音楽は、小さい頃から、まさしく遊びそのものでした。音楽が遊びですから、歌や楽器は遊び道具。ピアノ専門の人が他のジャンルにまったく無関心だったり、声楽家が楽器のことを何も知らなかったり、というのが不思議で気の毒でたまりません。いつまでも遊び続けたいと思います。



副指揮者 蛭 町 郷

昭和34年高萩市生まれ。茨城大学卒業後、渡里小学校を経て、現在千波小学校教諭。大学時代は学生指揮者として活躍し、渡里小時代NHK・TBSコンクールで輝かしい成績を収めている。

今回の定演には、諸々の事情により棒を振ることができないが、来年はさらにひと回り成長した姿で皆様の前に登場してくれるであろう。



ピ ア ノ 五 藤 淳 子

水戸二高、茨城大学教育学部音楽科卒。現在勝田市立大島中教諭。音楽の先生として、合唱部の顧問として多忙な毎日である。

学生時代より伴奏者として活躍し、あひる会では、第27回定演以来伴奏者を務め、あたたく優しいピアノの音色で団員の信頼も厚い。

歌うことが嫌いでした私にコーラスに魅せられて、はや？年がたちました。指揮者の合図で各パートそしてピアノが、のびのび踊り、走りだし、そして次の合図でパッと集まり寄り添い、今までの動きを忘れたかのように静かに流れていく。そんな呼吸や間が大好きです。また、そうありたいと思います。

パート紹介

[ソプラノ]

ソプラノのメンバーはここ数年、20名前後に定着しています。

年齢差は幅広く（高校生から花の熟年まで）、職業もいろいろ（学生・教師・会社員・主婦）ですが、コーラスをするときは皆同じ顔をして同じ声で歌っています。

今年のソプラノの目標は大人の発声で、詩をよく理解して、心を一つにして歌うこと。そのために二人ずつ組んで呼吸の仕方を確かめ合ったり、詩を朗読したり、合宿でおおいに語り合ったりしています。みんな、それぞれの分野で活躍している人が多く忙しいのですが、練習の時間をやりくって集まっています。

きょうコンサートに出かけてくださったあなた、メンバーの一人にどうぞ！

（梅沢）



[アルト]



♫母なる大地のふところに♫という合唱のように、つねにどこまでも広がるゆったりとした声をだす、いや、だしたいと思っているアルトの仲間たちです。

今回は地面をはうような低音に悩まされ、音が取れず、「ハイ、アルトだけ」と言われ、心で泣いて顔で笑い、がんばっております。あくまでも♫の~~~~んびり行こうぜ 俺たちは♫のペースを守って……。

しかし、みなさん。アルトにはすごい人がいます。40周年を記念におニュー私たちのドレスをデザインし、生地をみつけ、そしてな~~~~んとみんなつくってしまった人がいるのですよ。他にもたくさん。でもヒミツ。しりたい人は、是非、アルトとして入団してください。お待ちしております。

（五藤）

[テノール]

あひる会の中で、いちばん出入りが少なく人数も少ないパートが、テノールです。テノール伝統の「やわらかく明るいひびき」は、練りに練り上げられたベテランに、支えられております。

以上、きまり文句はこれぐらいにして、きょうは、40周年を記念して本当のお話を、お聞かせいたします。もともと、3度の食事よりも合唱の方が好き、経験豊富という人間集団なのですが、この2～3年、いろいろ忙しい年代の人たちばかりで、出席率が悪く女声パートの皆さんに迷惑をかけております。お互いを信頼して、誰も歌っていない時があったり、リズム音痴で指揮者をイライラさせたり…。それでも、本番では何喰わぬ顔をして堂々とうたいあげる問題のパートです。

みなさん、これを機会に是非、なかまに入りませんか。心からお待ちしております。

（川上）



[ベース]



男性の合唱団員というと、いかにも物静かな紳士というイメージが強いと思います。

その固定観念が先日の方山での合宿で、大きく音を立てるように崩れたのです。合唱の話はあまりしないで、ちょっと下品な話をパワフルにしてしまうのです。おとなしくしていたら、つぶされそうです。

ベースのメンバーは、一部を除いて、たいへんキャリアの豊富な人が多いのです。ただ、年齢の高いのが気になります。でも、先に書いたパワーで乗り切れるでしょう。

安定感のあるベースの歌声が聞けるはずですよ。

（鈴木）

あひる会合唱団団員名簿

常任指揮者 鈴木良朝
副指揮者 打越孝裕
蛭町郷

団長 川上睦夫
副団長 本田幸子
中島英俊

〔ソプラノ〕

阿部昌美
池田さなえ
○梅沢道子
大杉美智子
大関真理子
岡口好美
加藤木智子
川上富美子
○黒澤れい子
黒崎雅枝
佐藤澄江
菅波ひろみ
鈴木まゆみ
○関真理子
高野輝美
西野由美子
根本雅子
藤田秀子
古川真弓
○本田幸子
村田美芽
森田陽子

中村楨子
松平和子

〔アルト〕

五十嵐佳美
池田恵子
石井りさ子
石崎道江
井上敏子
○岩船教子
梅津直子
大久保直美
大崎クニ子
太田郁子
大和田義子
川又早苗
菊池美智子
久保恭子
○五藤淳子
下河辺千也子
高野純子
○戸張紀子
山村晴生

鈴木佳子
仲田眞由美
萩庭宏子
藤田絹子
山形洋子

〔テノール〕

岩船弘皓
相木千尋
川上睦夫
佐藤浩
鳴原和仁
富山惣七
○中島英俊
広瀬弘
○蛭町郷
保坂雄二
鈴木久義
古山邦穂

黒部健
前田雅俊
小池陽一

〔ベース〕

鈴木良朝
○坪登
◎打越孝裕
軽部宏
熊倉克彦
後藤務
佐藤和敏
鈴木慶一
花城清安
茂木巖
谷津幸男
山田道俊
赤津将之(団友)
茂木皇

遠峰俊一郎
中谷陽一郎
久保田直人
飯田豊樹
大高重幸
安藤隆一

(◎パートリーダー)
(○パート責任者)

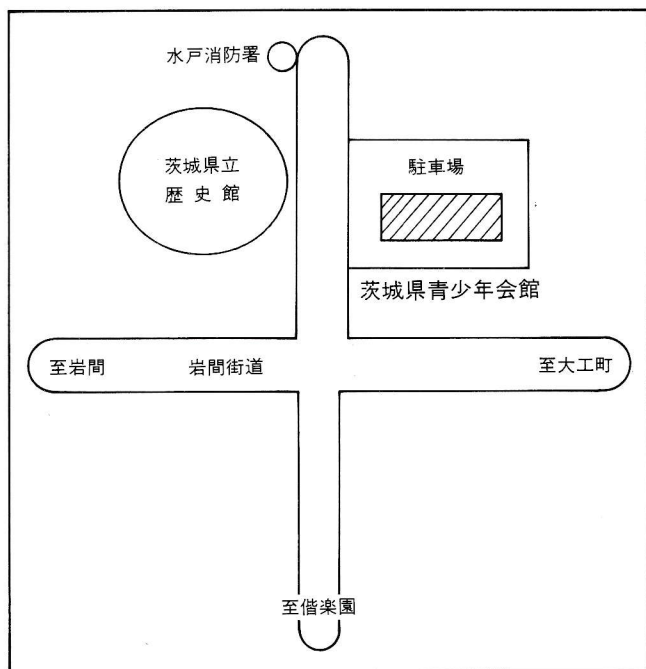
団員募集

あなたもあひるになりませんか

あなたは笑っているあひるを見たことがありますか？ それじゃあ歌っているあひるは？ …そんなあひるはいるわけないって？

ところがあるんです。…まあまあ、そんな不思議そうな顔をしないで。そしたら一度見に来てみて下さい。楽しいおしゃべりと、歌うことの大好きな大勢のあひる達が、きっとあなたを優しく迎えてくれるはずです。ほら、また1人誰かの声が聞こえてきました。合言葉は“あひる”ですよ。

練習会場（茨城県青少年会館）



♪練習日♪

毎週 月曜・木曜の2回
PM 6:30より9:00まで

♪団員資格♪

特にありませんが、練習に積極的に出られる方は誰れでも性別
年令を問いません。

♪連絡・問い合わせ先♪

TEL 0292 (52) 7077
本田 幸子



お礼のこたば

皆様、本日は私達あひるの会合唱団の40周年記念演奏会に御来場いただきましてありがとうございました。団員一同、心から御礼を申し上げます。またこの度は各方面よりの御理解ある過分なる御協賛をいただき実行委員会として重ね重ね御礼を申し上げる次第です。私達の一人一人の努力の積み重ねも決して皆様の満足のいかぬ所ではございますが、“あひるも翔べる”の確信を持ちつつ、これからも鈴木良朝先生の指揮の下に、皆様に愛されるあひるの会合唱団をめざし努力を続けます。

最後になりましたが、今回の演奏会の為に、誠に御多忙な折にあひるの会合唱団の委嘱作品を快よく引受けていただきました池辺晋一郎先生、新川和江先生の御2人に紙上を借りまして最大限の敬意と御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

実行委員長 富山 惣七

■ 編集後記 ■

創立40周年を記念して、定演のパフレットも例年より盛りだくさんとなりました。編集にあたり、県・市教育長の各氏、池辺、新川両先生をはじめ、協賛者の方々、さらに多くの関係者の皆様のご協力、ご支援をいただきました。ありがとうございました。

なお、編集には、大杉美智子、坪登があたりました。